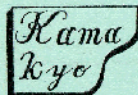


鎌倉交響楽団

第13回定期演奏会

6月21日(土) P.M. 7:00

鎌倉市中央公民館



鎌倉交響楽団第13回定期演奏会

後援 鎌倉市教育委員会
鎌倉音楽クラブ

曲 目

1. ヨハン・クリスチャン・バッハ シンフォニオ 変ロ長調作品18の2

指揮 高橋誠也

- 第1楽章 アレグロ 変ロ長調 2/2
- 第2楽章 アンダンテ 変ホ長調 3/4
- 第3楽章 プレスト 変ロ長調 3/8

2. マックス・ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第一番 ト短調作品26

指揮 前田幸市郎
バイオリン 林信子

- 第1楽章 アレグロ・モデラート ト短調 4/4
- 第2楽章 アダージョ 変ホ長調 3/8
- 第3楽章 アレグロ・エネルジーコ ト長調 2/2

休 憩

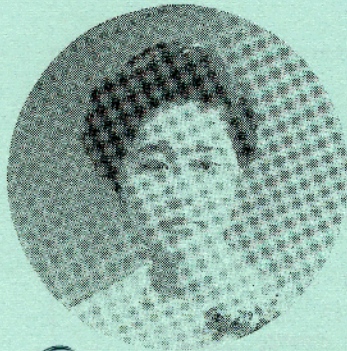
3. アントン・ドヴォルジャーク 交響曲第八番 ト長調作品88

指揮 前田幸市

- 第1楽章 アレグロ・コン・プリオ ト長調 4/4
- 第2楽章 アダージョ 変ホ長調 2/4
- 第3楽章 アレグロ・グラツィオーソ ト短調 3/8
- 第4楽章 アレグロ・マ・ノン・トロツポ ト長調 2/4

1969年6月21日(土) P.M. 7:00

鎌倉中央公民館



林 信 子 略 歴

昭和39年	フェリス女学院短大音楽科卒業
昭和40年	同専攻科卒業 久保田良作先生に師事
昭和39年	読売新人演奏会に出演
昭和40年	神奈川県新人演奏会 神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演
昭和43年	F・グループ ジョイントリサイタルに出演
現 在	山手音楽教室講師

曲目解説

シンフォニア 変ロ長調

17世紀後半にオペラの序曲にアレグロ（速い）～ グラーベ（ゆっくり）～ アレグロ（速い）と云う3つの部分をもった簡単な器楽曲を奏する習慣があった。これは、「イタリア序曲」あるいは「シンフォニア」と呼ばれた。このスタイルが後にハイドンによって充実され、ソナタ形式の完成へと発展するのである。

ヨハン・クリスチャン・バッハ（1735～1782）は、いわゆる大バッハと呼ばれるヨハン・セバスチャン・バッハの18番目の息子（末子）で主にロンドンで活躍した。イタリアにも旅行をし、当時のイタリア歌劇の影響を受け、「イタリア序曲」の形式を知った。この変ロ長調作品18の2のシンフォニアは歌劇「ルチオ・シッラ」の序曲として作られたものである。

第一楽章はアレグロ、第二楽章はアンダンテで小ロンド形式、第三楽章は同じく小ロンド形式で急速なテンポである。バロック時代と古典派時代の中間にあたるロココ時代の代表作品であり、対位法から和声的作風に変る大切な時期に生れた。第一楽章はハイドンを思わせ、第二楽章はヘンデルを思い出させると云う、いわゆる過渡的作品と云えよう。

ヴァイオリン協奏曲第一番 ト短調作品26

マックス・ブルッフ（1838～1920）はドイツの中期から後期ロマン派時代の作曲家で、一生の間に作った93曲の作品は3つの交響曲、協奏曲・カンタータ、オラトリオ等のあらゆる分野におたっており、その中で特に知られている曲が今晚演奏される「ヴァイオリン協奏曲第一番」と「コル・ニドライ」である。

彼は昔うちドイツ各地、フランス、イギリス等を良く旅行し、その地方の音楽を身をもって接しながら吸収して行った。特に循環的な動機の手練された用法、壮麗でよく響く管弦楽法はフランス旅行に負うところが大きい。この旅行の頃、ヴァイオリンの大家ヨアヒムと親しくなり、この作品が出来る動機となつたらしい。そしてこの曲はヨアヒムに献呈された。

（第一楽章）かなり自由なソナタ形式のティンパニーの弱い轟きが2小節続き、木管の静かなテーマが済むと、レスティヴォ風な独奏ヴァイオリンが現われる。第一テーマは豪壮で力強く、第二テーマは弦と美しい対位法で描かれた優美な曲である。展開部は主に独奏ヴァイオリンが活躍する。再現部は、第一テーマや第二テーマが現われずにただちに管弦楽総奏となり、しだいに下降し、静まって行く弦はそのまま第二楽章へ続く。

（第二楽章）ブルッフ得意の旋律美に溢れた歌謡的な楽章である。だいたい3つのテーマがこの楽章を組み立てている主要なものである。それらは甘美で、やや感性的な美しさを感じさせる。

（第三楽章）ソナタ形式の精力的で華美な終曲である。ハンガリーの色彩の強い親しみのある第一テーマが力強くひびく。やがて、独奏ヴァイオリンが抜打的な旋律で次第に気分を盛り上げ、全管弦楽によって第二テーマに移る。これはすぐ独奏ヴァイオリンによってくりかえされ、半音階的な展開を見せて、楽しげに発展して行く。最後は次第に速度を速め、プレストとなり華々しく終る。
[演奏時間24分]

交響曲第8番 ト長調作品88 ドヴォルシャツク

交響曲「新世界より」で有名なアントン・ドヴォルシャツク（1841～1904）は9曲の交響曲を作っている。この曲は故郷のチェコスロバキアで作られたが、出版はロンドンでなされたため、「イギリス交響曲」などと呼ばれている。しかし

性格はイギリス的であるよりはむしろ、ボヘミアの国民主義的色彩が濃い。全体の構成は極めて独創性に満ちている。又、即興風なところさえある。

(第一楽章) チェロとクラリネットとホルンによる優美でのびやかな短調の悲歌の旋律で曲は始まる。これが第一テーマである。フルートで明るい別のテーマが出て来るとそれはやがて、しだいに力と輝かしさを増してゆく。第二テーマはクラリネットで軽ろやかな旋律である。展開部は、冒頭のゆるやかなテーマが出て来て後、速度を前にもとして、フルートが別のテーマを奏し、これにオーボエが対話風に加わる。強烈な和音で曲は活気を帯び、中間のクライマックスをもり上げる。そしてトランペットで第一テーマがffで奏され再現部に入る。型通りの第二テーマが調を変えて現われ、コーダに入って力強いひびきのまま終る。

(第二楽章) つぶやくような夜の動きから始まるとあとは、ボヘミアの自然のたたずまいを描いたと云われる、かなり自由な歌謡形式である。森の小鳥の声、古城、村の祭等目に浮かぶような風景画である。

(第三楽章) スケルツォ楽章である。数多くのスラブ舞曲の傑作を書いたドヴォルジャークならではの美しいメランコリックな旋律である。フルートとクラリネットの伴奏が又、素晴らしい効果を奏している。中間部はフルートとオーボエの民謡風の素朴で清朗な歌が楽しくに歌われる。涼いスタッカートのスラブ舞曲風なコーダでこの魅惑的な楽章を終る。

(第四楽章) 最初にトランペットのファンファーレが鳴りひびく。チェロの力強い足どりで第一テーマが奏される。それが堂々とした変奏をくり返し、終奏に入る。第10変奏まで、色々な楽器により変奏され、一度チェロの主題にもすがテンポは速められ、冒頭のファンファーレとその変奏による雄大な終結に至る。
〔演奏時間35分〕

鎌倉交響楽団メンバー

名誉指揮者 東 清 蔵
常任指揮者 前田 幸 市 郎

											(順不同)															
Violin	西井久美子	板倉由美子	小原綾子	加茂直子	長峯治子	丹部幸彦	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎	
Viola	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Violin Cello	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Double Bass	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Flute	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Oboe	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Bassoon	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Clarinet	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Horn	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Trumpet	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Trombone	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Tuba	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Timpani & Percussion	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Assistant Conductor	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							
Stage manager	阿部内田	伊前大内	西谷野井	大酒東徳	藤橋永藤	ゆき守子	き守子	恒清松林	次水原木	せ潤千信	き一子	子三子	服神関竹	部戸川内	美き公久	知よ仁	子み健子	綱島忠之	大原義郎							

初夏の装い

ブラウスは

イワタ糸店

由比ヶ浜銀座通り
TEL 21501

レコード
ステレオ・カラーTV

樂 聖 堂



GAKUSEIDO

レコード部 由比ヶ浜通り 0467-221-2270
テレビ部 鎌倉磯子通り 0467-221-2281
書籍部 鎌倉銀座通り 0467-11241-0171

中華料理

榮 樂

由比ヶ浜通り
(六玉蔵ソバ)
Tel. 23219 (代)

鎌倉の昔になした

さまでっ

○御酒まん

義経

静

女夫饅頭

○鎌倉郷土菓子

頼家卿乃

彌子

鎌倉名産酒まん処

松風堂本廬

若宮大路 電話 23219 (代)

洋服の

オーダーメイドは

鎌倉テーラー

代表者 井川清太郎

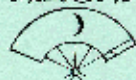
山北ヶ浜通り

TEL. ☎ 2408

伝統を生かした最高の味

千羽鶴サブレ

フダン又風ゼヌケット



鎌倉

風月堂

ほんそれいゆ

山北ヶ浜店 Tel. ☎ 4968 代表

鎌倉駅前店 Tel. ☎ 2538

江戸川藤沢駅前店 Tel. ☎ 8932

フランス料理



小町園

横須賀線下馬カーク脇

TEL. ☎ 2370

祝 鎌倉第13回定期演奏会

小町通り

湘南証券

Tel. ☎ 6700~4

株式・社債・電話債券の御用命を